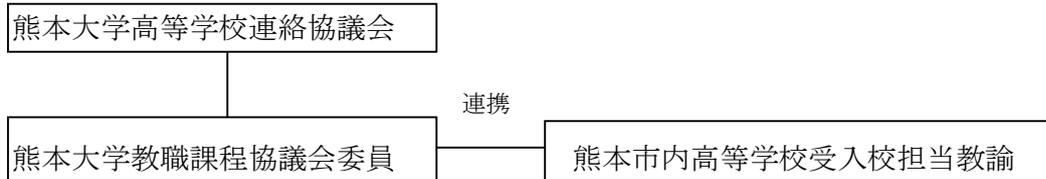


## 様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 実 施 計 画	
1	教育実習の内容及び成績評価等
①	教育実習の時期 4年次6月～10月
②	教育実習の実習期間・総時間数 中学校又は高等学校2週間（80時間） 中学校又は高等学校4週間（160時間）
③	教育実習校の確保の方法 人員配当は、当該年度の教育実習希望者に応じて、大学と実習校との協議のうえ決定する。
④	教育実習内容 授業観察29時間、授業担当20時間（うち研究時間2時間）、授業研究10時間、教材研究28時間、指導講話8時間、給食指導20時間、ホームルーム13時間、学級事務10時間、学校行事12時間、クラブ活動10時間
⑤	教育実習生に対する指導の方法 教職課程協議会が教育実習の基本姿勢と実習校の条件を考慮して指導計画を立案・実施する。 実習期間中に1回以上、教職専任教員及び実習校へ配置された学部教員が巡回し、研究授業には教職専任教員又は実習生の大学における指導教員が立ち会い、指導する。
⑥	教育実習の成績評価（評価の基準及び方法） 実習生の成績評価については、大学で定める様式によって実習校に報告を依頼する。 単位取得の認定は、実習校からの成績評価報告と大学指導教員による実習評価を総合し、熊本大学教職課程協議会の審議に基づき教育学部長が行う。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 事前指導・・・4月：22時間 事後指導・・・9月：8時間
②	内容（具体的な指導項目） 事前指導 1 大学オリエンテーション 関係資料を配付し、教育実習実施要項に基づき実習全般について説明する。 2 映像資料による説明会 ビデオ教材の利用等、視聴による討議を行う。 3 実習に関する講話 実習校から講師（校長）を招き、教科・教科外指導及び指導体験等の講話を行う。



## 【委員会の組織図】



## 4 教育実習の受講資格

- (1) 4年次生で、原則として第3年次までに開講される「教職に関する専門科目」の全部及び「教科に関する専門科目」を修得していること。
- (2) 教職に就く意志の強い者で、教育実習実施学年末に卒業見込みの者。

## 5 実習校

学校名	熊本県立済々黌高等学校 (熊本県熊本市中央区黒髪2丁目22-1)	学級数：30	生徒数： 1,226人
教員数	79人(内訳) 教諭59人、実習教諭2人、講師10人、非常勤講師6人、養護教諭2人		
学校名	熊本県立熊本工業高等学校 (熊本県熊本市中央区上京塚5丁目1)	学級数：30	生徒数： 1,188人
教員数	115人(内訳) 教諭78人、実習教諭22人、講師10人、非常勤講師3人、養護教諭2人		
教育委員会名	熊本市教育委員会 小学校92校 中学校42校		

令和5年3月14日

## 教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本県立済々黉高等学校長  
鶴山幸樹  
(公印省略)

熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和5年3月16日

## 教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本県立熊本工業高等学校長  
柿下 耕一  
(公印省略)

熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和4年4月1日

## 教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本市教育委員会委員長  
遠藤 洋路  
(公印省略)

熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。